



Access



学術情報流通とオープンアクセス(OA)

－ 全体像・プレプリント・ハゲタカ対策－

2024年6月 大阪医科薬科大学 講演事前資料

EBSCO Information Service, Japan 花田 謙一 (課長代理)

ORCID ID: <https://orcid.org/0000-0002-3955-8066>

※当該資料について、複製や転載及び掲載等をご遠慮ください

アジェンダ

1. オープンアクセス

- 種類
- 現状
- キーワードの掘り下げ
- オープンリサーチ出版
- CCライセンス
- 長期保存
- メガジャーナル
- インパクトファクター

2. プレプリント

- 定義
- 主要なプレプリントサーバ
- 信頼性の基準
- DOIとORCID
- 学術特化型SNS

3. ハゲタカジャーナル

- 定義
- 特徴
- 判断基準
- 新しい脅威

Jxiv

(全分野・学際分野)

<https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv>



medRxiv

(臨床医学)

<https://www.medrxiv.org/>



Research Square

(全分野・学際分野)

<https://www.researchsquare.com/>





オープンアクセスとは？
お金の壁を壊せるか

OA（オープンアクセス）

- ①無料で読める学術論文、書籍、研究データ 等
- ②インターネットを利用して、誰もが無料で閲覧できる
- ③最近では研究データにも注目（RDM）
- ④ライセンス表記のないフリーアクセス（ブロンズ）との違い

OA拡大の背景は？

- ①オープンサイエンス
（科学の成果は無料で公開という社会ニーズの高まり）
- ②シリアルズ・クライシス
（価格弾力性の低さ）
- ③流通性の高さ
（購読誌だと閲覧者は限定的になる）

キーワードの掘り下げ:OAの種類



【戦略的に選択肢を決める】

論文投稿の選択肢

- ①ゴールド(OA)
 - ②グリーン(OA)
 - ③購読型 (受益者負担)
- ※②と③の併用型

目的に応じて選択してください

ゴールド型 :

APC (論文投稿料) を著者が出版社に支払うことによってOAとして出版できるモデル。

利点として猶予期間がなく、即時に最新の論文を公開、かつ自由に著者がライセンスを付与可能。しかし、お金がかかり、高騰している

グリーン型 :

いわゆるセルフアーカイブ。代表的なものとして、機関リポジトリやSNS、学術系SNS、ブログなどがある。

無料で公開可能なのが利点。ただし、あくまで出版版のコピーなので、猶予期間やライセンスの著者による付与において制限がある場合あり

ダイヤモンド型 :

APC (論文投稿料) はかかるが、負担する主体が著者ではなく国や助成機関になるモデル

OAの種類は？

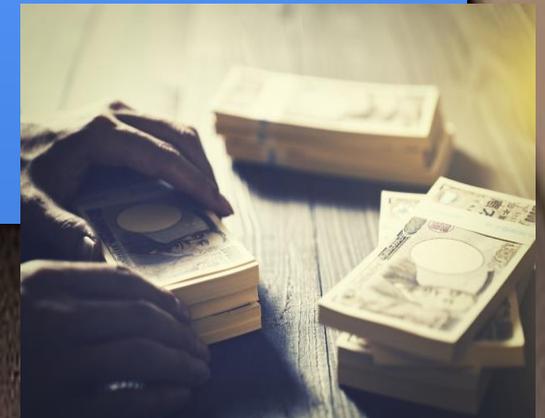
大きく分けて

- ①ゴールド
- ②グリーン（セルフアーカイブ）

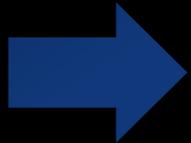
その他、
ダイヤモンド
ブロンズ
ハイブリッド（購読型） 等

OAの課題は？

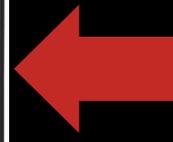
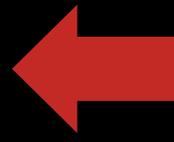
- ①ハゲタカジャーナル
- ②長期保存
- ③APC（論文投稿料の上昇）



オープンアクセスの仕組み



【オープンアクセスの分水嶺】
青：ゴールド型のまっとうなルート
赤：悪徳ジャーナル（投稿料の搾取）



評価の高いOAの見分け方は？

DOAJ:

- ①約20,000ジャーナルのフルOAを収録。
- ②ホワイトリスト
- ③価値の高いOAのリスト

PMC(PubMed Central):

NLMの関連部門であるNCBIで運営。NIHから助成を得た論文は強制的にここで公開される
(パブリックアクセス方針)

J-STAGE:

- ①科学技術振興機構が運営。日本の学会誌のOA化を支援、海外発信
- ②CiNiiからごっそり本文がこちらに移管された

IRDB (旧JAIRO):

NIIが運営。日本のリポジトリの横断検索サイト
(グリーンOA)

- ・ APC（論文投稿料）
- ・ BPC（書籍投稿料）

①パブリックアクセス方針:

助成を得た論文等の研究成果は必ず無料で公開されなければならない
(NIH)

②OAポリシー:

所属機関の論文等の研究成果は必ずリポジトリ等で無償で公開しないといけない

「ハイブリッドOA」

- ・ 本来は購読型（有料）ジャーナルなのに追加料金にて論文単位でオープンアクセスにできるOAオプション
- ・ 二つの課題

- ・ OAとフリージャーナル
- ・ CCライセンス

フリッピングモデルとは

図書館等の機関がジャーナルに払うお金をそっくり論文投稿料に変換して、無料でみんなが読めるOAにするモデル

Read & Publish契約とは

図書館の連合体（コンソーシアム）がその出版社の電子ジャーナルパッケージを有料で購読するが、その機関に所属する研究者の論文は投稿料なしでその出版社のジャーナルにオープンアクセスとして載せることが可能

（APC高騰問題の解決策？）

オープンリサーチモデル

Taylor & Francis社のF1000Researchが有名。この製品を利用した筑波大学ゲートウェイや発展型のJapan Institutional Gatewayがある

ハゲタカジャーナル

論文の投稿料を搾取することを第一義とし、編集や査読もろくにしていない粗悪ないし悪徳ジャーナル。日本でも大問題に

オープンアクセス

メリット：

・世界中の誰もが閲覧でき、流通性が高い。
つまり、ダウンロード回数、SNSでの言及が期待できる。

デメリット：

・必ずしもIFが高いという保証がなく（所属機関での評価にも影響）、該当分野で適したOAがない可能性も。

購読型（有料型）

メリット：

・購読型は、所属機関のIFによってIFが高い可能性あり。

・著名な研究者であっても購読者が

（つまり、OAと比して、流通性が低く、被引用数にも影響する可能性）。

【押さえておきたいポイント】

- ・ 助成機関のOAポリシー
- ・ 国による即時OA公開の施策

ダウンロード

- 6～8倍増加

オープン化によるメリット：

- ・ オープンアクセス化すると閲覧が増え、引用が増えるといった利点については、書籍だけでなくジャーナルでも同様のプラス効果に関するエビデンスが出ている
(一部、議論あり)
- ・ ただし、質の高いOAジャーナルが対象であり、ハゲタカジャーナルでは期待できない
(扱う範囲が狭いジャーナルも)

• 30～50%
増加

• 10～16倍
増加

CCライセンスとは？

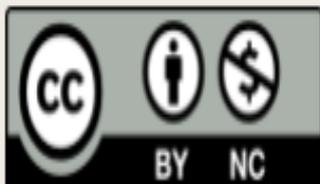
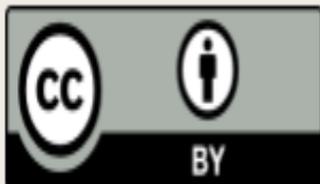
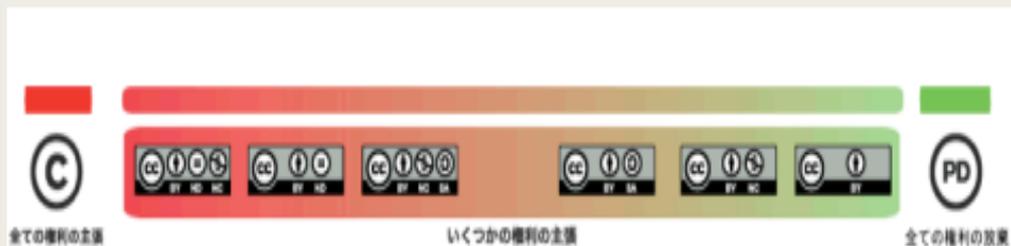


権利者の死後70年まで保護

もしくは



保護期間切、権利放棄



<p>表示</p>	<p>非営利</p>
<p>作品のクレジットを表示すること</p>	<p>営利目的での利用をしないこと</p>
<p>改変禁止</p>	<p>継承</p>
<p>元の作品を改変しないこと</p>	<p>元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること</p>

・ オープンアクセスの必須条件
 ・ 当然ながらオープンアクセスで推奨されているのは利用条件がもっとも寛容な「CC BY」
 ・ ブロンズにはこれがない

引用：
 Creative Commons Japan
<https://creativecommons.jp/about/>

注目の権利保持戦略とは？

投稿

編集 (レフェリー)
査読 (ピア・レビュー)

受理
(リジェクト)

権利保持戦略：
著作権譲渡前に著者最終版にCCBY
を著者が自分の論文に与える

出版社へ著作権の譲渡

校正
校閲

出版



発表した論文が雲散霧消するリスク：

- ①紙の場合は、物理的に残り、長期保存の責任主体は図書館
- ②電子の場合は、物理的に残らず、長期保存の責任主体は出版社や大学などの研究機関に移行
- ③倒産や災害といったリスク対策の必要性
- ④小規模で財政的に脆弱な出版社や機関
- ④長期保存の手段としてのダークアーカイブであるPorticoやCROCKSS。これがジャーナルの信用性を示す要件になっている

いわゆるハゲタカジャーナルは保有ジャーナルを長期保存する動機をそもそも持たない

OAジャーナルに投稿する場合は自分でその保存体制も確認すべき時代になった

研究評価指標インパクトファクター

- ①ジャーナルの引用影響力を数値化
(別名、計量書誌学、ビブリオメトリクス)
- ②図書館員の購読ジャーナルの選定、
教員の論文投稿先選定等で利用されている
- ③コストなしの調べ方として、
Googleなどの検索エンジンで
「ジャーナル名+Impact Factor」と検索
(出版社サイトやWikiで出てくる)

JIFの計算方法：

二年の例だと、あるジャーナルの2018年の論文数が170件・2019年の論文数が240件、それらの論文の2020年の引用回数が合わせて2000件だったとき

$$\rightarrow 2000 / (170+240) = 4.8$$

JIFに関連するデータベース

- ①Journal Science Reports(JCR)
- ②Web of Science (論文)
- ③SCOPUS (論文)
- ④Google Scholar

【JIFで押さえておきたい】

- ・ OA雑誌であろうと購読誌であろうとジャーナルの評価指標は関わる
- ・ ハゲタカは偽の評価指標を使ってくるので評価指標を正しく理解する必要がある
- ・ DORA (サンフランシスコ宣言) やライデン宣言の内容の理解

研究評価指標 インパクトファクター(JIF)概観

雑誌単位○

論文単位×

研究者×

つまり、ジャーナルの評価には有用だが、論文や研究者の評価には使えない

課題：

コントロールリスクあり

①自己の論文を引用せよ

②引用されやすいレビュー論文を自分（編集者）のジャーナルで意図的に増やす

課題：

③否定的な内容もIFの数値にカウントされてしまう。

Sciteの技術とは？

課題：

④分野による引用傾向の相違

（数学・工学と医学・物理）

野球とサッカーの点数を比較するのと同じ

JIFの三つの課題：

- ①即時性
- ②社会性
- ③評価の単位

JIFのないジャーナルは？：

- ①三年未満のジャーナル
- ②IFは変動する

※出版社、編集委員、主要DBに索引されているかが重要になる

最近の傾向：

助成金の申請や組織でのアピールでもJIFだけでなく多角的な指標を活用する必要あり

- ①JIFから派生した雑誌評価指標（アイゲンファクターやSJR）
- ②論文評価指標（被引用やAltmetrics）
- ③研究者の評価指標(h-index)など（ダウンロード数）

「戦略的なアピールの必要性」

被引用数とは？

その論文がどれだけ引用されたかを数値化したもの

(=他の論文の参考文献リストに含まれている回数)

強み：

・ジャーナルではなく論文単位で評価（JIFとの違い）

三つの課題：

①遅行指標に該当するので、数値化されるまで時間がかかる。

②マッシュー効果：

著名な雑誌や著者に引用が集中するバイアス（偏り）

③肯定的な引用なのか、否定的な引用なのか、現時点では区別できない。

【論点】Google Scholarの被引用数値との違い

Google Scholar COVID-19

記事 約 2,070,000 件 (0.04 秒)

期間指定なし
2021 年以降
2020 年以降
2017 年以降
期間を指定...

関連性と並べ替え
日付順に並べ替え

すべての言語
英語 と 日本語のページを検索

すべての種類
総説論文
 特許を含める

[HTML] **Covid-19**—navigating the uncharted
[AS Fauci](#), [HC Lane](#), [RR Redfield](#) - 2020 - Mass Medical Soc
Covid-19—Navigating the Uncharted Fauci, Lane, and Redfield comm...
clinical features and epidemiology of cases reported in Wuhan, China, ...
mortality data, noting that the outbreak is a stark reminder of the need ...
☆ 保存 引用 **引用元 1403** 関連記事 全 42 バージョン

[HTML] The **COVID-19** epidemic
[TP Velavan](#), [CG Meyer](#) - Tropical medicine & international health, 2020
The current outbreak of the novel coronavirus SARS-CoV-2 (coronavirus ...
previously 2019-nCoV) eni-centred in Hubei Province of the Peop...
has spread to many other countries. On 30. January 2020, the WHO E...
☆ 保存 引用 **引用元 1931** 関連記事 全 13 バージョン

COVID-19 pathophysiology: A review
K Yuki, M Fujiogi, [S Koutsogiannaki](#) - Clinical immunology, 2020 - Elsevier
In December 2019, a novel coronavirus, now named as SARS-CoV-2, caused a series of
acute atypical respiratory diseases in Wuhan, Hubei Province, China. The disease caused
by this virus was termed **COVID-19**. The virus is transmittable between humans and has ...
[HTML] nih.gov

【押さえておきたいポイント】

- ・ Google Scholarは「引用元」で論文の被引用数を数値化。
- ・ 特に専門外の論文を読む時の判断に利用可能。
ただし、理想としては、専門領域の論文は内容で判断したい

【Google Scholarの強みと弱み】

強み：

- ①雑誌単位ではなく論文単位（被引用数）
- ②言語を問わないので、和文献も対象
- ③分野を問わないので、社会科学や人文科学も対象

弱み：

- ①検索アルゴリズムやデータのカバー範囲の不透明性
- ②書誌の正確性



IF以外の評価指標

押さえておきたい主要な評価指標

①インパクト・ファクター(IF)
雑誌・ジャーナルの最重要の評価指標



②アイゲンファクター
①の欠点を補正した雑誌・ジャーナルの評価指標



③オルトメトリクス
論文単位の評価指標。①の代替指標でもある



④SCImago Journal Rank (SJR)
評価の高い雑誌から引用されると高い点数を付与（重みづけ）。②とその性質は似ている

⑤h-index
被引用数だけでなく、論文数も加味した研究者の評価指標（Googleで検索可能）

被引用数

- 論文投稿の選択肢の多様化（購読型+OA）
- ハゲタカに留意
- CCライセンス付与は必須
- ジャーナルの長期保存の視点
- 評価指標として主流のインパクトファクターの理解
- インパクトファクター以外の評価指標の理解と活用

「戦略性は投稿だけでなく、評価指標の活用でも」

アジェンダ

1. オープンアクセス

- 種類
- 現状
- キーワードの掘り下げ
- オープンリサーチ出版
- CCライセンス
- 長期保存
- メガジャーナル
- インパクトファクター

2. プレプリント

- 定義
- 主要なプレプリントサーバ
- 信頼性の基準
- DOIとORCID
- 学術特化型SNS

3. ハゲタカジャーナル

- 定義
- 特徴
- 判断基準
- 新しい脅威



プレプリントの時代

新しい論文流通の形とは？

アジェンダ

1. オープンアクセス(OA)

- 種類
- 現状
- CCライセンス
- 電子ジャーナルの長期保存
- メガジャーナル

2. プレプリントとは？

- 定義
- 位置づけ
- 主要なプレプリントサーバ
- 信頼性の基準
- DOIとORCID
- 学術特化型SNS
- SSRNとJxivのデモ

プレプリントとは？

プレプリントとは？：

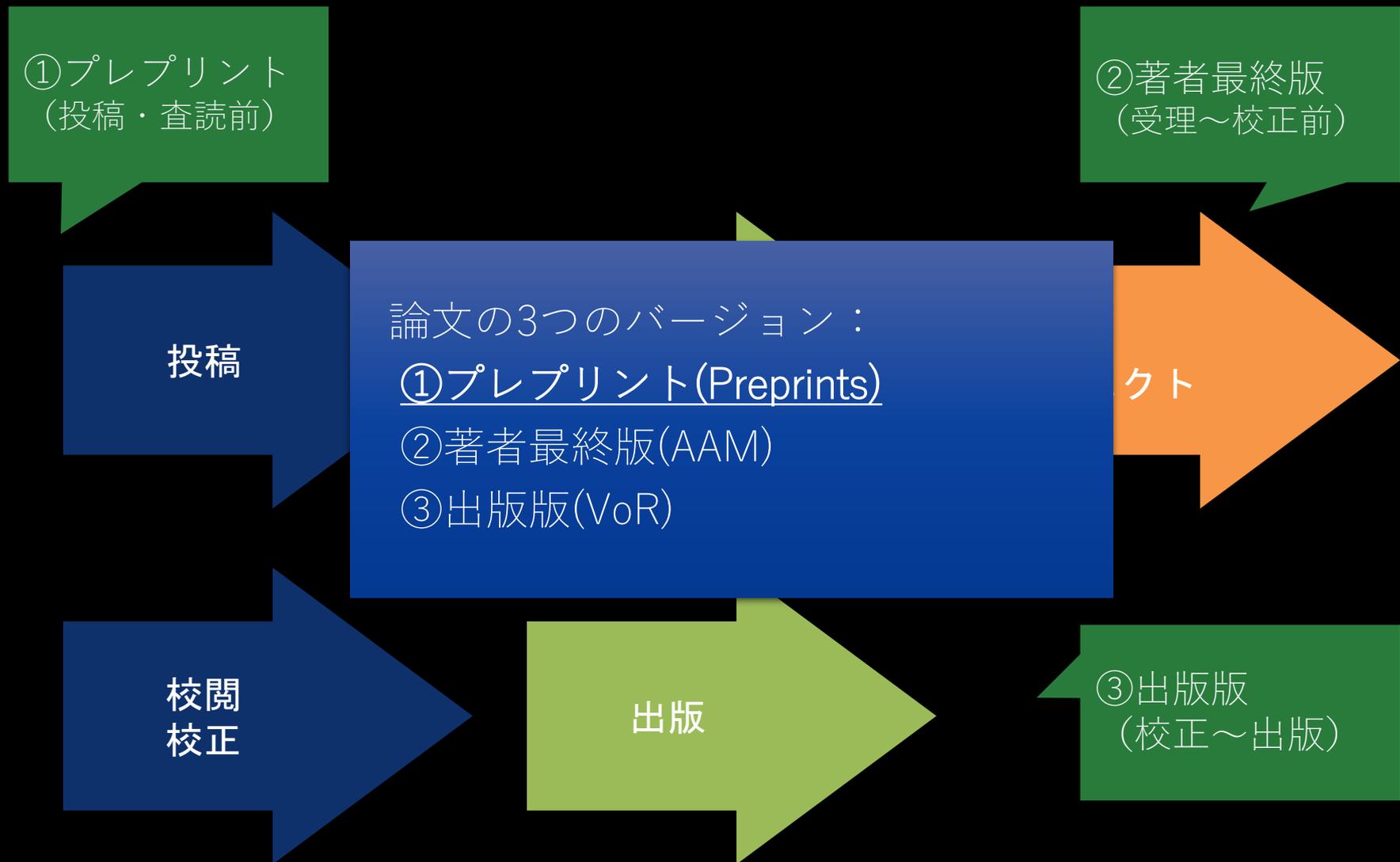
「論文の投稿、査読前のバージョンを指す。一般的にこれをネット上のプレプリントサーバにアップする」

押さえるべきキーワード：

- a.速報性（プレプリント文献の公開日と査読を経て雑誌論文として公開される日を比較すると、平均して14か月の開き）
- b.先取権（優先権）
- c.被引用（プレプリント付きの論文とそうでない論文の差は約5倍）
- d.拡散性（SNS）



論文の出版フローは？



メリットは？

- ①いち早く自分の論文を流通させ、投稿前に他からフィードバックをもらえる（論文のブラッシュアップ）
- ②自分が先に書いたと優先権、先取権を主張可能
- ③出版前にSNSやメディアで評価してもらえる
- ④人事考課や助成金審査での評価
- ⑤早期の研究成果にも関わらず高いインパクトを得られる可能性＝引用可能性の高さ（事例）

など



デメリットは？

- ①査読がされていない（質保証が危うい）
- ②出版社によっては二重投稿とみなして投稿を受理しない危険性
- ③研究の横取り（漏洩）リスク
- ④ジャーナルによっては査読前のプレプリントの引用を認めていない

など



注意事項：

- ①特許関連
- ②著者全員の同意
- ③二重投稿（インゲルフィンガールール）※注意あり

※著者側の視点として、投稿雑誌がプレプリントの引用を認めているか？

参考：プレプリントの引用に関する利用側の留意事項

- a.改版（プレプリント）
- b.出版版（または著者最終版）

時系列でみたプレプリントの動き

ArXiv発足

1999年発足、アーカイブと呼ばれるプレプリントサーバー。コーネル大学が運営。物理学から始まったが、現在は数学、統計、コンピュータサイエンス、経済まで網羅。プレプリントサーバの嚆矢と言われる

BioRxiv発足

2013年11月 ArXivの影響を受けて、生物科学・疫学・遺伝学のBioRxivが発足。コールド・スプリング・ハーバー研究所等が運営。現在はCovid-19の論文も多数収録し、代表的なプレプリントサーバーに成長。ただし、命に関わる臨床医学は除くことに留意

SSRN買収

2016年5月、社会科学系の代表的なプレプリントサーバSSRNをElsevier社が買収。現在、SSRNは社会科学だけでなく多分野へ展開中。プレプリントの評価指標として、PlumX（オルトメトリクス）を採用しているのも特徴

時系列でみたプレプリントの動き

OSF Preprints
発足

2016年7月、Center for Open Science(COS)が立ち上げる。技術基盤としてOSF Preprintsを提供し、プレプリントの拡大に貢献。図書館情報学、栄養学、スポーツ学、心理学、農学、法学等がある。
2016年～2019年まで第二の波の到来。 NIIのGakuin RDMも採用

ChemRxiv
発足

2017年8月：化学系のプレプリントサーバーであり、ベータ版の公開。米国化学会(ACS)が運営。2019年に中国化学会 (CCS) と日本化学会 (CSJ) も共同運営に参加している。保守的な化学分野でかつ大手学会が運営していることで注目された

medRxiv
発足

2019年6月 最後の砦であった臨床医学のプレプリントサーバー。コールド・スプリング・ハーバー研究所、イエール大学やBMJ等が立ち上げた。BioRxiv同様にCovid-19の論文を多数収録。査読をしていないことへの注意喚起もあり

Jxiv
発足

2022年3月24日。日本初のプレプリントサーバが稼働。運営とスクリーニングは科学技術振興機構(JST)。英語だけでなく、日本語も対応して、対象分野は問わない。ただし、researchmapやORCID IDが必要

どのプレプリントサーバを選択すべきか？

①財務の安定性

(持続可能性)

収入 < 支出

②DOIが付与されるか？

(保存と流通)

保存だと長期保存サービス
と連携しているか？

③十分なスクリーニング

(事前審査)

Preprint server directory

Columns Print Excel CSV Copy

Show All entries

Search:

Preprint server	Disciplinary scope	Ownership type	Screening processes	External content indexing	Permanence of content	Preservation of content	Commenting
AAS Open Research	Multiple scientific fields, including health and wellbeing*	Funding organisation (funder)	Data is available (if applicable), Code is available (if applicable), All authors notified, One author affiliated with AAS, Legal compliance, Ethical compliance	Google Scholar, Prepubmed, Europe PMC, SciLit	Permanent with some removal options in exceptional circumstances	Preprints permanently archived in Portico	Commenting (including annotation plug-ins)
Advance: a SAGE Preprints Community	Humanities and Social Sciences	Publisher	Content within scope, text overlap detection, ethical compliance, legal compliance	Google Scholar, Crossref			
AfricArxiv	All scientific fields	Academic community group; charity	Akismet spam filtering (automatic on all OSF content), Content within scope	Google Scholar, SHA Academic, Unpaywall	options in exceptional circumstances	read access for 50+ years	hypothesis

ASAPbioのディレクトリリスト。
[List of preprint servers: policies and practices across platforms – ASAPbio](#)

DOI(Digital Object Identifier)：論文や研究データへの識別子

- ・ 国際DOI財団 (IDF)
- ・ 登録機関(RA)として、CrossRefやJaLC など
- ・ 研究データのDOI登録機関としてDataCite

①DOI (論文やデータの識別子)：

- ①永続性・流通促進 (URLの限界の打破)
- ②引用文献への埋め込み

②ORCID (オーキッド)：研究者の識別子：

- ・ 日本ではResearchmapが有名だが、海外ではORCIDが圧倒的に普及
- ・ いわゆるパスポート

これらの識別子はプレプリントにも深く関係する



実例:

10.1126/science.1065467

アクセスURL:

<http://dx.doi.org/>

10.1126/science.1065467

DOIを分解すると・・・

a.プレフィックス（接頭辞）:

10.1126

b.サフィックス（接尾辞）:

science.1065467

a.は国際DOI財団(IDF)またはその委託機関が出版社に付与（出版社コードとも）

b.は出版社や研究機関が自由な形で付与可能（一般的には雑誌と記事コードの組み合わせ）。接頭辞と接尾辞を組み合わせたDOIを出版社等が書誌とともにCrossRef等の付与機関（RA）のDBに登録する流れ

実際のアクセスや引用文献に埋め込んで本文記事へのリンクとして利用したい場合、上記の例ですと、

<http://dx.doi.org/10.1126/science.1065467>

緑の部分（DOIネーム）をDOIに追加することによって、IDFのサーバが解釈し、出版社のサイトに転送してくれる仕組み

ORCIDとは？

- ・ 16ケタの研究者識別子
- ・ まず陳さんや田中さんのような同じ苗字、名前の人を識別子で同定・区別する必要がある

利点①：論文投稿

この識別子がないと出版社が本人確認の為、投稿を受け付けないケースもあり（助成金申請も然り）

利点②：双方向性

CrossRefや助成機関等と連携して、自己の業績を自動で反映でき、客観的な履歴書になる

（単なるプロフィールにあらず）

<https://orcid.org/>

- ・個人では無料で登録可能（日本語の切り替え可能）
- ・日本でもORCIDの登録数が増加（近くコンソーシアムも）
- ・Reserachmapとの関連性
- ・プレプリントサーバに投稿する際は必ずORCIDを記載すること。

出版社による出版フローへの組み込み：

- a.ElsevierやSpringer Natureは学術雑誌に投稿された論文を査読中にプレプリントで公開できるシステムを構築している
- b.Elsevierは自社保有のプレプリントサーバSSRNから可能性のある論文を見つけ、出版フローへ誘導する仕組みを構築

質保証：

- a.bioRxivやmedRxivは事前の厳しいスクリーニング
- b.Review Commonsはプレプリントの段階で査読を実施

新しい出版モデル

F1000 Research：

≠プレプリントで先に出版して、オープン査読を通過するとPubMed, SCOPUSなどの主要データベースに収録（≠プレプリントと査読出版の組み合わせに近いモデル）

持続可能性：

- a.COS(Center for Open Science)がサーバの維持に課金するようになり一部のプレプリントサーバが運用できなくなる事態に。
- b.プレプリントサーバの維持にはお金がかかり、利益を生まない構造

プレプリントの信頼性を判断するには？

査読がされていないプレプリントの信頼性を判断する基準：

- a.再現性を担保できる研究データ、プロトコル、研究コードなどの関連データを確認できるか？
- b.プレプリントサーバの質。編集、受理の基準を設けていたり、スクリーニングをしているか？
- c.データや統計が業界の基準を満たしているか？
- d.著者が信頼できるか？調べる手段としてSCOPUS, WOS, Google Scholarがあり、他の論文やh-indexといった研究者の評価を確認可能（ORCIDがあれば実績も）
- e.プレプリントが査読プロセスでどの位置にあるのか？例えば、査読中、査読通過など
- f.コミュニティの反応は？SSRNなどではダウンロード数やWikiやメンデレーへの保存回数、SNSでの言及数などが定量的に確認できる

参考文献：

“Systematic examination of preprint platforms for use in the medical and biomedical sciences setting”, Kirkham et al., BMJ Open. 2020. <http://dx.doi.org/10.1136/bmjopen-2020-041849>

“Credibility of preprints: an interdisciplinary survey of researchers” Courtney K Soderberg, et al. Royal Society Open Science. 28 October 2020. <https://doi.org/10.1098/rsos.201520>

“Meta-Research: Tracking the popularity and outcomes of all bioRxiv preprints”, Richard J Abdill and Ran Blekhman, eLife. 24 April 2019. <https://elifesciences.org/articles/45133>

プレプリントの信頼性を判断するには？

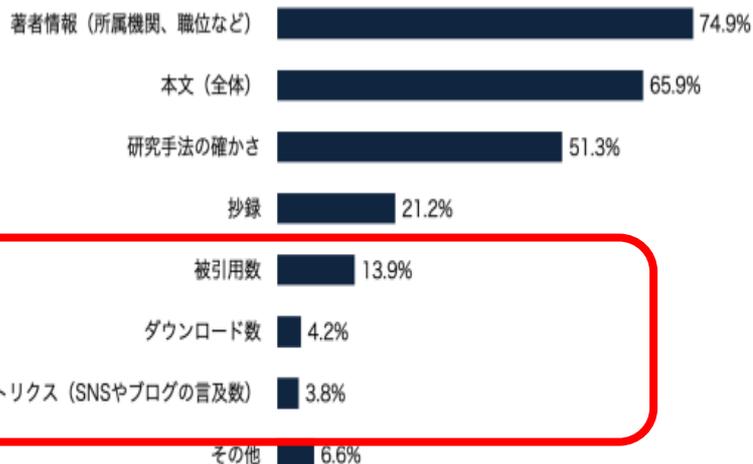


図 9 プレプリントの信頼性の判断基準 (n=754, 複数回答)

グラフ引用 (上) (下) :
池内 有為 林 和弘

「プレプリントの利活用と認識に関する調査」2021年2月のNISTEP報告書

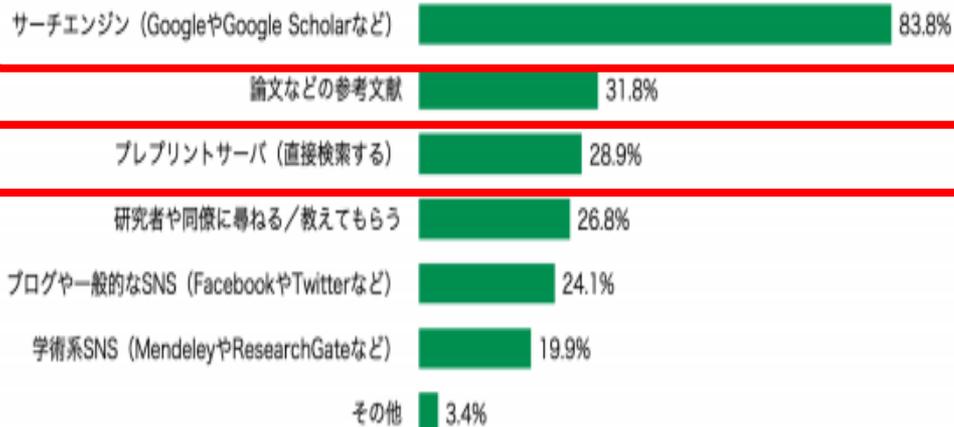


図 37 プレプリントの検索ツール (n=755, 複数回答)

(上) 信頼性の判断基準

研究者へのアンケートだから本文や研究手法がクローズアップされるのは当然。では、研究者以外はどうしたら？

(下) 検索ツール、手段

プレプリントサーバをなぜ直接検索しないのか？どのデータベースを選択したら分からないのと同じ理屈。または、研究分野に合致するプレプリントサーバがない可能性も。どちらにしてもGoogleの存在が圧倒的な事実に着目

利用の多いGoogleとプレプリント

記事

- 期間指定なし Framework of Environmental Management Accounting: An Overview
 - 2022 年以降 M Kamruzzaman - ... Accounting: An Overview (November 5, 2012 ..., 2012 - papers.ssrn.com)
 - 2021 年以降 Framework of Environmental Management Accounting: An Overview ... Framework of
 - 2018 年以降 Environmental Management Accounting: An Overview ... Framework of Environmental
 - 期間を指定... Management Accounting: An Overview ...
- ☆ 保存 99 引用 引用元 15 関連記事 全3バージョン

Framework of Environmental Management Accounting: An Overview

Md. Kamruzzaman
Green University of Bangladesh
School of Business
November 2012

Md. Kamruzzaman
 Association of Chartered Certified Accountants (ACCA) Part-II, Kaplan Financial, United Kingdom
 Association of Business Executives (ABE) Associate Member, London, United Kingdom
 MBA Major in Accounting and Information Systems , Specialization in Cost and Strategic Management, Dhaka University , BBA Major in Accounting and Information Systems, Dhaka University
Lecturer in Accounting
School of Business, Green University of Bangladesh
 Email: ais_kamrul@yahoo.com
 Mobile: 01960 513 124

Disaster on the Horizon: The Price Effect of Sea Level Rise *

Asaf Bernstein[†] Matthew Gustafson[‡] Ryan Lewis[§]

Original draft November 18, 2017
 This version May 3, 2018

Disaster on the Horizon: The Price Effect of Sea Level Rise 🔍 検索

ウェブ 画像 動画 知恵袋 地図 リアルタイム ニュース 一覧 ツール

約5,360,000件 1ページ目

日本語のみで絞り込む

https://www.sciencedirect.com > article > abs > pii

Disaster on the horizon: The price effect of sea level rise

Homes exposed to **sea level rise** (SLR) sell for approximately 7% less than observably eq uivalent unexposed properties equidistant from the beach.

https://papers.ssrn.com > sol3 > papers

Disaster on the Horizon: The Price Effect of Sea Level ...

2017/11/21 - Homes exposed to **sea level rise** (SLR) sell for approximately 7% less than observably equivalent unexposed properties equidistant from the beach.

Journal of Financial Economics (JFE), Forthcoming

64 Pages • Posted: 21 Nov 2017 • Last revised: 26 Jul 2018

Asaf Bernstein
University of Colorado at Boulder; National Bureau of Economic Research (NBER)

Matthew Gustafson
Pennsylvania State University - Smeal College of Business

Ryan Lewis
University of Colorado, Boulder
Date Written: May 4, 2018

Abstract
 Homes exposed to sea level rise (SLR) sell for approximately 7% less than observably equivalent unexposed properties equidistant from the beach. This discount has grown over time and is driven by sophisticated buyers and communities worried about **global warming**. Consistent with causal identification of long horizon SLR costs, we find no relation between SLR exposure and rental rates and a 4% discount among properties not projected to be flooded for almost a century. Our findings contribute to the literature on the pricing of long-run risky cash flows and provide insights for optimal climate change policy.

Keywords: Climate Change, Asset Prices, Beliefs, Sea Level Rise, Real Estate

JEL Classification: G1, G14, Q54

Suggested Citation:

Bernstein, Asaf and Gustafson, Matthew and Lewis, Ryan, Disaster on the Horizon: The Price Effect of Sea Level Rise (May 4, 2018). Journal of Financial Economics (JFE), Forthcoming, Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=3073842> or <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.3073842>

Place Job Opening

Paper statistics

DOWNLOADS	ABSTRACT VIEWS	RANK
3,954	31,071	3,702

89 Citations

52 References

PlumX Metrics



Related eJournals

Behavioral & Experimental Finance eJournal

Follow

プレプリントの信頼性を判断するには？

Preprint server	Disciplinary scope	Ownership type	Screening processes	External content indexing	Permanence of content	Preservation of content
AAS Open Research	Multiple scientific fields, including health and wellbeing*	Funding organisation (funder)	Data is available (if applicable), Code is available (if applicable), All authors notified, One author affiliated with AAS, Legal compliance, Ethical compliance	Google Scholar, Prepubmed, Europe PMC, SciLit	Permanent with some removal options in exceptional circumstances	Preprints permanently archived in Portico
Advance: a SAGE Preprints Community	Humanities and Social Sciences	Publisher	Content within scope, text overlap detection, ethical compliance, legal compliance	Google Scholar, CrossRef	Permanent with some removal options in exceptional circumstances	N/A (we don't have an arrangement in place currently)

b. プレプリントサーバの質。
ASAPbioのディレクトリリスト。
[List of preprint servers: policies and practices across platforms – ASAPbio](#)

Research Article

Validation of the Spanish version of Fear of COVID-19 Scale: Its association with acute stress and coping

Jose A. Piqueras, Gomez-Gomez, M., Marzo, J.C., Gomez-Mir, P., and 3 more

This is a preprint; it has not been peer reviewed by a journal.

<https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-75063/v1>
This work is licensed under a CC BY 4.0 License

Abstract

Background The COVID-19 is a "unique" stressor, which can produce physical and psychological trauma. Coping styles can buffer this psychological impact. Consequently, this paper aims to psychometrically adapt the Fear of COVID-19 Scale (FCV-19S) to Spanish and examines the relationships between FCV-19S, stress response and coping strategies.

Cite Share Download PDF

Status: **Published**

Journal Publication

Badges 0

Citations See more

e. プレプリントが査読プロセスでどの位置にあるのか？

プレプリントの信頼性を判断するには？

Some Simple Economics of the Blockchain

[Rotman School of Management Working Paper No. 2874598](#)
[MIT Sloan Research Paper No. 5191-16](#)

39 Pages • Posted: 27 Nov 2016 • Last revised: 11 Jun 2019

Christian Catalini

Massachusetts Institute of Technology (MIT) - Sloan School of Management; Diem Association and Diem Networks US; National Bureau of Economic Research (NBER)

Joshua S. Gans

University of Toronto - Rotman School of Management; NBER

There are 2 versions of this paper

Date Written: April 20, 2019

Abstract

We build on economic theory to discuss how blockchain technology can shape **innovation** and competition in digital platforms. We identify two key costs affected by the technology: the cost of verification and the cost of networking. The cost of verification relates to the ability to cheaply verify state, including information about past transactions and their attributes, and current ownership in a native digital asset. The cost of networking, instead, relates to the ability to bootstrap and operate a marketplace without assigning control to a centralized intermediary. This is achieved by combining the ability to cheaply verify state with economic incentives targeted at rewarding state transitions that are particularly valuable from a network perspective,

Do you have a job you would like to apply for?
Place Job Opening

Paper statistics

DOWNLOADS 41,233 ABSTRACTS 115,900

50 Citations

44 References



f. 利用統計やメンデレーへの保存回数、Wikiでの引用回数などの例

Christian Catalini
Replying to @neelashkari and @AntonioFatas
Thanks for reading the WPI Crypto is needed to build true open rails that multiple entities can use and compete on a level playing field (see: [papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=3444444](#)).
10:07 AM - Jun 29, 2019

Robert Floyd
Good research paper on the **#economics** of **#blockchain** technology [poseidon01.ssrn.com/delivery.php?...](#)
1:54 AM - Nov 5, 2018

Andrea Bury
Some Simple Economics of the Blockchain [buff.ly/2O03lvq](#) **#blockchain** **#blockc...**
9:08 PM - Aug 10, 2018

Talonya Adams (personal acct)
Some Simple **#** stimulating white cost of networki: [bit.ly/2R9RBNY](#)
12:34 AM - Jan 7, 2019

Filip Szymanski
Some Simple Ec research paper \$ way to **#bootstr** **#crowdfundin**

Research Article
Global warming impairs the chemical attractiveness to pollinators
Guaraci Cordeiro, Stefan Dötterl
This is a preprint; it has not been peer reviewed by a journal.
<https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-1564047/v1>

f. コミュニティからのSNSでの反応の例 (注意 X (旧ツイッター))

between flowering plants and their biological, and behavioral approaches (*varia x ananassa*) affect chemical (*terrestris*, *Osmia bicornis*). While our study, mainly *p*-anisaldehyde (81%) and did not emit any detectable scent. In the optimum scenario. We predict your study raises important ecological pollinators might result in insufficient pollination with negative consequences for ecosystem functioning and crop yields.

Tweets
3 tweets 0 retweets
Latest Tweets
Infopoint #Klimawandel 🇩🇪 #Artensterben
"decreased attractiveness of **#flowers** to pollinators might result in insufficient **#pollination** with negative consequences for **#ecosystem** functioning and **#crop** yields"
#GlobalWarming impairs the chemical attractiveness to **#pollinators**
Preprint [researchsquare.com/article/rs-156...](#)
#climate
Aufstand gegen das Aussterben 🇩🇪 @XR_Aufstand
"Bei hohen Temperaturen produzieren manche Pflanzen deutlich weniger Duftstoffe. Dadurch können Insekten wie Bienen diese nicht mehr finden und bestäuben. Dies hat eine neue Studie herausgefunden."
9:33 PM - Jul 25, 2022

初期の研究成果のインパクトを上げる

- ①プレプリントサーバに投稿する
- ②学術系SNSに論文をアップする

X (旧ツイッター)
フェイスブック

Linked in

学術特化型

Research Gate
Academia Edu

メンデレー

※リサーチゲートを掘り下げ

- ・ 代表的な無料の学術向けSNSの一つ
- ・ 利用者は2,000万人以上
- ・ ビル・ゲイツも投資者の一人

利用におけるメリット：

- ・ 自分の研究成果（論文や研究データなど）を公開でき、利用率をトレースできる
- ・ 利用者側はプレプリントなどの速報性の高い論文を読める（公開されていない場合は、その著者にリクエスト可能）
- ・ 利用者側は著者に質問ができる
- ・ 気になる研究者をフォローして、最新の情報を入手可能

利用における注意点：

論文をアップロードする、またはリクエストに応じて提供する場合（OAを除く）、

- ・ 著作権者の同意
- ・ 版による著作権

※過去にはPDFが一斉にダウンロードできないというケースも

☑画像は以下から引用：

<https://www.researchgate.net/>



オルトメトリクスとは？（論文評価指標）

- ・ 21世紀のメトリクスと言われ、IFを補完する指標（代替指標）
- ・ IFのような学術的なインパクトというよりもSNSやWikiでの取り上げられ方といった社会的なインパクトを数値化
- ・ 数値化には、論文の閲覧数、SNSでの言及やメンデレーへの保存、Wiki、論文単位の被引用数、推薦等、複数の切り口がある
- ・ 多くの雑誌のウェブサイトで公開され、この評価指標は研究成果のアピールに活用されつつある（論文単位で）

特徴は？

- ①社会性
- ②即時性
- ③論文単位

※すべてJIFとの比較の視点で

課題は？

- ①ボットといった技術で自分でSNS上の数进行操作
- ②新しい論文がSNSで取り上げられやすい
- ③評価要素の重みづけ



「タケノコのように増加しているプレプリントサーバは今後どうなるのか？」

二つの方向性が考えられる。

①分野が細分化して今後も増加していく

②大規模な学会や研究所、大学が運営するプレプリントサーバに集約されていく

私見として、中長期的に②の方向に向かっていくだろう。

理由はやはり財政の問題。したがって、利用者はその分野で著名でかつ運営主体はどこなのか、持続可能性を意識する必要があると考える。

アジェンダ

1. オープンアクセス

- 種類
- 現状
- キーワードの掘り下げ
- オープンリサーチ出版
- CCライセンス
- 長期保存
- メガジャーナル
- インパクトファクター

2. プレプリント

- 定義
- 主要なプレプリントサーバ
- 信頼性の基準
- DOIとORCID
- 学術特化型SNS

3. ハゲタカジャーナル

- 定義
- 特徴
- 判断基準
- 新しい脅威



ハゲタカとは何か？
その霧を晴らす



定義：

「学問を犠牲にして自己の利益を優先し、虚偽または誤解を招く情報の提供、最善の編集・出版慣行からの逸脱、透明性の欠如、積極的かつ見境のない勧誘活動を特徴とする団体、出版社」

ハゲタカのキーワード：

- a. 科学の発展 < 己の利益（悪貨は良貨を駆逐する）
- b. 査読の欠落、欠陥
- c. APC（論文投稿料）の搾取という経済的な目的
- d. オープンアクセス（OA）の一種



ハゲタカジャーナルとは？

☑ハゲタカは
ここを実質的に放棄

投稿

編集 (レフェリー)
査読 (ピア・レビュー)

受理
(リジェクト)

☑ハゲタカは
ここも実質的に放棄

出版社へ
著作権の
譲渡？

校正
校閲
長期保存

出版



排除されなければいけない理由：

- ①著者のキャリアの毀損
- ②所属機関の評価の低下
- ③科学への社会からの信頼の毀損
- ④査読ジャーナルの形骸化
- ⑤研究成果のコントロール不能化



ハゲタカ認定の影響：

- ①論文の著者のキャリア
- ②著者の所属機関や助成機関の名声や評価
- ③出版社の評価と経営

特徴：スパムメール



参考：ワイリー・サイエンスカフェ

2015年5月18日

「研究者にスパムメールを送りつける出版社の多くは「ハゲタカ出版社」 / ポーランドの研究者が、自分が受け取った約1千通のスパムメールを分析」

Kozak, M., Iefremova, O. and Hartley, J. (2015), Spamming in scholarly publishing: A case study. *Journal of the Association for Information Science and Technology*.

doi: 10.1002/asi.23521



①何かしらの金銭的な動機あり

②調査結果でホワイトリストであるDOAJに約8割がリストアップされていない、

7割以上がブラックリストであるビールズリストに載っていた

ハゲタカに投稿してしまう5つの理由

参考文献：

「Journal of Advanced Nursing」 Willy, Open Access

Clark, A. M. and Thompson, D. R., "Five (bad) reasons to publish your research in predatory journals." J Adv Nurs. 2017 Nov; 73(11):2499-2501

DOI: <https://doi.org/10.1111/jan.13090>



I do not care about my external reputation

研究者がハゲタカに投稿する危険性について認識していない。外部の評価を一気になくし、雇用の機会さえ、奪われかねない。最近の調査でも多くの研究者がこれを認識していない結果が。

I do not believe in myself or my work

不受理を繰り返すことによる自信喪失からハゲタカに頼ってしまう

Publication numbers count most

質よりも論文数で評価されてしまう風潮からハゲタカで数を稼ぐ誘因に

I cannot be bothered to read

ハゲタカは正規のジャーナルに似せた名前を意図的に使う。ジャーナル調査を怠り、これへの不注意に乗ってしまうケース

I have given up

あえてハゲタカに投稿する（例えば、博士号取得や論文数を稼ぐため、助成を得るために意図的に投稿する）

Inadequate Quality Control	Articles were published with significant grammatical and spelling errors that should have been caught with rudimentary proofing.	"Two hundred thirty-three articles (65.6%) had documented errors in writing and included all the errors on the review form, plus others such as the use of colloquial language, overuse of abbreviations, incomplete sentences, and awkward phrasing. The obvious inadequate use of the English language is one red flag that should alert readers to the fact that many of the articles in predatory journals are not written as citations or as evidence to guide practice. Many of the reflected inadequate English were by authors for whom English is likely a second language. However, blatant grammatical errors occurred in articles from English-language countries with authors with Eurocentric names. Although perfection in English is an elusive goal, there should be processes in place, including a second language proofing, that ensures that the final published article is factually and professionally presented." (Oermann et al., 2018, p. 9)
Inadequate Verification of Submission Authenticity	Failure to take basic steps to prevent plagiarism and misattribution.	"We discovered one journal that published plagiarized articles and vice versa. This was identified by a membership team who found one article to be very similar to an article viewed. Further investigation (reading the articles side-by-side) revealed that the title was modified, different authors were used, the location and affiliation of the authors were changed, and the second sentences of the abstract and of the article were identical, but beyond that, the rest of the text was identical. We decided to rereview the randomly selected articles from the journal wherein it was found that all the content was plagiarized. A spot check of additional articles in the journals suggest that they contained 100% plagiarized content, which between them totalled 163 published articles. Interestingly, these journals were published by different publishers. Both journals have names that are similar to legitimate, nonpredatory journals—in one case, the difference is only one letter, creating an additional layer of deception for a reader." (Oermann et al., 2018, p. 9)
Failure to Safeguard Intellectual Property	Reviewers or editors take authors' ideas and use them without proper attribution and may even interfere with a manuscript's publication for their personal benefit.	"A study conducted by Resnik et al. reported unethical practices [sic] of predatory reviewers stealing original ideas and purposely delaying their publications. It was among study participants including researchers, research doctoral trainees, and technicians working at the National Environmental Health Sciences, 6.8% of the respondents perceived predatory reviewers breaching the confidentiality of manuscript submission, they also reported that predatory reviewers used their ideas or data without their will as to gain personal benefits. About 9.2% respondents claimed that reviewers unethically delayed their review process so that they could publish their own research on the same topic with minor variations." (Sharma & Verma, 2018; p. 228)
Falsified Editorial Board	To increase their credibility, journals list well-known scholars on their board without permission.	"I also get e-mails from the predators' victims. Some have named as members of editorial boards without their knowledge or permission." (Beall, 2012, p. 179) "Still other reputable individuals have found their names on journal Web sites, without their permission or knowledge, as members of bogus editorial boards." (Nahai, 2015, p. 1042)

Table 1: Common Indicators of a Predatory Journal

Indicator	Description	Illustrative Quotes
Publication Fees	The journal charges a publication fee inconsistent with its costs and may hide the existence of the fee until after an article is accepted.	"Some predatory publishers spam researchers, soliciting manuscripts but failing to mention the required author fee. Later, after the paper is accepted and published, the authors are invoiced for the fees, typically US\$1,800. Because the scientists are often asked to sign over their copyright to the work as part of the submission process (against the spirit of open access) they feel unable to withdraw the paper and send it elsewhere." Beall, 2012, p. 179)
Peer Review	Peer review processes are inadequate, not followed or inadequately disclosed.	"Predatory journals have, at last, had the tables turned on them with stings to show their peer review processes are flawed or, more commonly, non-existent. This is critical as too many seem unaware of the lack of peer review and the damage that causes. A particularly classic example, if you can excuse the salty language, is the paper by David Mazieres and Eddie Kohler published in the journal International Journal of Advanced Computer Technology and entitled 'Get me off your f***** mailing list.' That particular paper literally consisted of nothing more than repeating the text of the article's title, including the expletive, hundreds of times. The manuscript was accepted for publication." (Roberts, 2016b, p. 619)
Speed of Publication	Very rapid submission to publication times experienced or advertised.	"Predatory journals may seem attractive, with their scaled-down publication times (in return for payment), but are really not to be recommended: such speedy treatment does not allow time for proper reviewing, and there is little assurance that the publication will stay in the scientific field for very long." (Laccourreye et al., 2018; p. 39)
Failure to Follow Publishing and Preservation Standards	Journals do not assign DOIs to articles and fail to ensure they are archived for future readers.	"Few predatory publishers practice digital preservation according to established standards, and fewer, I think, even know what it is. I suspect that few back up their content, and I have documented cases of publishers disappearing from the Internet, their content forever lost." (Beall, 2015b; p. 474-475)

参考文献

Gill, T. G. (2021). The Predatory Journal: Victimizer or Victim? *Informing Science*, 24, 51–82.
<https://doi.org/10.28945/4788>

ハゲタカの特徴

ハゲタカジャーナルの特徴

指標	特徴	備考
1 投稿料金(APC)	事前に具体的な金額を明示せず	金額は高いとは限らない
2 査読	欠落または欠陥あり	
3 出版スピード	異常に早い (2週間?)	通常は三か月、半年、一年スパンで
4 長期保存 (デジタル)	していない	そのうち消えていく運命
5 品質管理 (編集)	していない。稚拙な英語、スペル・文法のミスあり	校正をしていないから当たり前
6 住所や連絡先	非表示または偽装	ガレージ経営が多い
7 編集委員	勝手に名前を利用している	
8 識別子	DOIがない	偽の識別子の登場?
9 評価指標	誤った認識を与える評価指標の利用	インパクトファクター?
10 マーケティング手段	スパムメールの多用とSEO	Googleで正規のHPよりも上に位置するケースあり
11 ホームページ外観	立派、または稚拙	
12 APCの請求時期	受理 (アクセプト) よりも前に請求	投稿からすぐ請求書を送るのはフライング
13 ジャーナルタイトル	正規の著名ジャーナルに似せる	SEO
14 索引情報	著名なデータベースに索引付けされていると嘘の主張	<ul style="list-style-type: none"> ・手口は年々巧妙に。 ・基本、彼らは撤回には応じない。他のジャーナルにも投稿できない (二重投稿の禁止)
15 不正防止対策	盗作画像などの防止へコスト、リソースを割かない	
16 著者	実在しない	
17 巻号	発刊予定の号が未発刊、バックナンバーがランダム	

特徴：類似の評価指標と識別子

いろいろな評価指標：

- a. Journal Factor
- b. Global Impact Factor (GIF)
- c. Universal Impact Factor
- d. Scientific Journal Impact Factor (SJIF) etc...

例えば。b.のGIFについて。

<http://globalimpactfactor.com/>

その判断基準は

- ① 受理とリジェクトの率
- ② 著名なDBにインデックス化されている

！ここでのポイントは被引用の指標ではない



論文の識別子：

SOI (Scientific Object Identifier)

「学術出版の世界で成長を続ける閻経済 DOIを模した識別子”SOI”まで登場」

カレントアウェアネス

Posted 2016年1月26日

<https://current.ndl.go.jp/node/30545>

インパクトファクターとは？

a.引用数 ÷ 発表数 (=ジャーナルの論文数)

b.あるジャーナルの論文が、ある期間内に何回引用されたかを測定する方法

例として、あるジャーナルが2019年から2020年の間に36本の論文を出版し、それらの論文が2021年に152回引用されたとすると、そのジャーナルの2021年のインパクトファクターは $(152/36) = 4.2$ となります。この場合、二年間の各論文が平均して4.2回引用されたことを意味し、これがジャーナルの評価になる。

したがって、個々の収録論文ではなくジャーナルの評価になる点に注意（ノーベル賞の本庶先生が喝破）

論文の識別子であるDOI(Digital Object Identifier)とは？

- ①国際DOI財団 (IDF)
- ②登録機関(RA)として、CrossRef やJaLC など
- ③研究データの登録機関DataCite

利点は？

- ①永続性・流通促進
(URLの限界)
- ②引用文献への埋め込み



実例:

10.1126/science.1065467

アクセスURL:

<http://dx.doi.org/>

10.1126/science.1065467

DOIを分解すると・・・

a.プレフィックス（接頭辞）：
10.1126

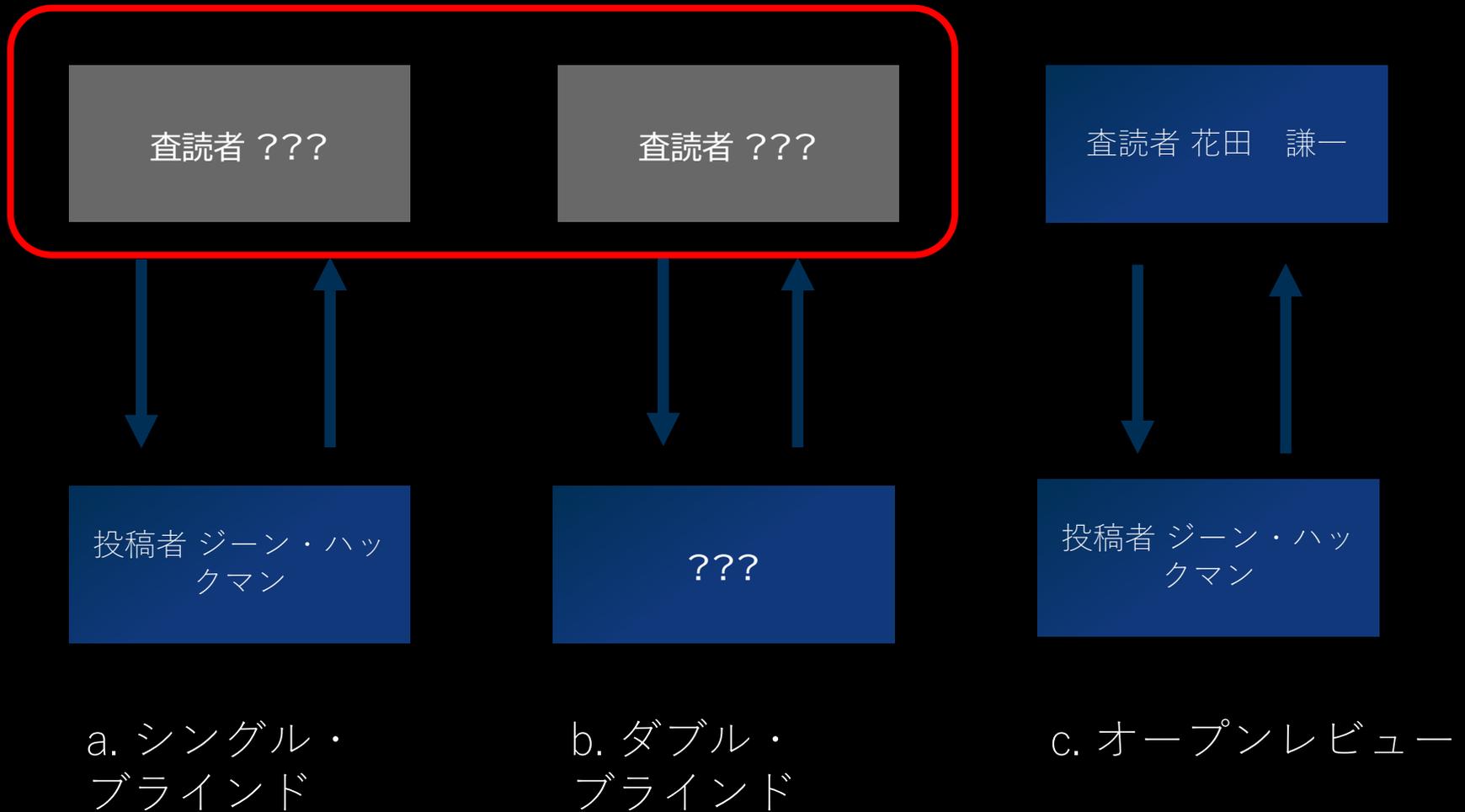
b.サフィックス（接尾辞）：
science.1065467

a.は国際DOI財団(IDF)またはその委託機関が出版社に付与（出版社コードとも）

b.は出版社等が自由な形で付与可能（一般的には雑誌と記事コードの組み合わせ）。接頭辞と接尾辞を組み合わせたDOIを出版社が雑誌とともにCrossRef等の付与機関（RA）に登録する流れ

実際のアクセスや引用文献に埋め込んで本文記事へのリンクとして利用したい場合、上記の例ですと、
<http://dx.doi.org/10.1126/science.1065467>

アンダーラインの部分（DOIネーム）をDOIに追加することによって、IDFのサーバが解釈し、出版社のサイトに転送してくれる仕組み



査読制度の構図と落とし穴

TABLE 3 How authors discovered the journal in which they published.

Answers	Frequency	Percentage
Email invitation	26	32.5
Searching on the net	25	31.2
Recommended by others	11	13.8
Congresses and conferences	4	5
Editorial board	2	2.5
Did review for them	2	2.5
marketing campaign	1	1.26
Referral	1	1.26
Previous publication	1	1.26
Not answered	7	8.8
Total	80	100.0

【引用文献】：

Salehi, M., Soltani, M., Tamleh, H., & Teimournezhad, S. (2020). Publishing in predatory open access journals: Authors' perspectives. *Learned Publishing*, 33(2), 89–95. <https://doi.org/10.1002/leap.1261>

TABLE 7 Reasons why the authors selected the journal in which they published.

Answers (26)	Frequency	Percentage
Fast publication	40	31.2
Low cost	19	14.8
Good feedback	10	7.8
Reputation of the journal	7	5.5
Open access	6	4.7
Good peer review	6	4.7
Editorial board	3	2.3
Publishing without payment	3	2.3
Easy peer review	2	1.6
Supporting a new journal	2	1.6
Relevance to the research	2	1.6
Con...		
Inde...		
Imp...		
Invi...		
Cult...		
Pub...		
Bel...		
Con...		
Get...		
Pro...		
Hig...		
Invi...		
Bro...		
Fre...		
Clas...		
Not...		
Total	128	100.0

Q.TAKE3 どのようにして知ったのか？

- a.メールからの招待
- b.ネット検索
- c.他の人からの紹介

Q.TAKE7 なぜ選択したのか？

- a.早い出版
- b.低いコスト



特徴：

- a. 軽量査読
(出版スピードが早い)
- b. 比較的投稿料が安価
- c. 収録数が桁違いに多い
- d. 収録分野の多様性



- a. 必要最小限の査読を採用して出版スピードが早いジャーナル
- b. インパクトファクターのジャーナル評価数値も悪くない
- c. PLOS Oneについては採択率が70%と高いが、査読はきちんとされ、重要な知見が公開されているという評価

PLOS One (プロスワン)

- ・ 出版社はPLOS
- ・ 2006年創刊
(メガジャーナルの嚆矢)
- ・ IFは3.7
- ・ 姉妹ジャーナルとして、
PLOS Biology, PLOS Medicine
- ・ 年間約3万本以上の論文を収録
- ・ 近年の収録論文数の減少

URL: <https://journals.plos.org/plosone/>

- ・ ビールズの指摘する「早く出版したい強いニーズ」とハゲタカジャーナル
- ・ メガジャーナルという一選択肢

Scientific Reports

- ・ 出版社Springer Natureが運営
- ・ 強いブランド力
- ・ IFは4.6
- ・ 2017年に収録論文数で
PLOS Oneを抜いた
- ・ 日本の研究者の論文も多数収録

URL: <https://www.nature.com/srep/>



ハゲタカをどう防ぐか？

己を知り敵を知るもの百戦危うからず

Think Check Submit

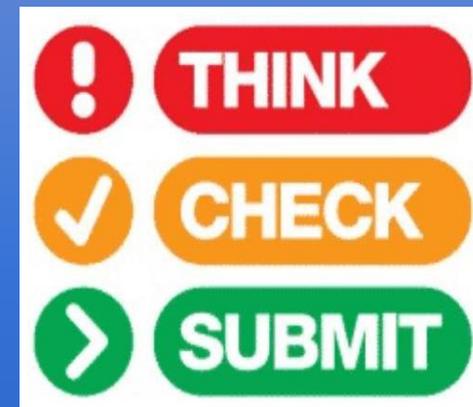
「考えて、確認して、提出しよう」

英語版:

<https://thinkchecksubmit.org/>

日本語版(2024年):

[Japanese • Think, Check, Submit. \(thinkchecksubmit.org\)](https://thinkchecksubmit.org/japanese)



- ① 出版社、関連団体が立ち上げ
- ② 日本の大学図書館によるチェックリストもこれを参考に行っている

- ① 特定のジャーナルを推奨するものにあらず
- ② 設問に答えて、ハゲタカをふるい落とす有名なサイト

論文投稿ジャーナルチェックリスト

出版社名	ジャーナル名	
No.	確認内容	チェック欄
1	ご自身または同僚がそのジャーナルを知っていますか。 ・以前にそのジャーナルに投稿された論文を読んだことがありますか。 ・そのジャーナルの最新論文を容易に見つけられますか。 ・Web of Science, Scopus, CILii Articlesに収録されているジャーナルですか。 ・Directory of Open Access Journalsに掲載されているオープンアクセスジャーナルですか。 (https://doaj.org/) ・所属する学会等で評価されているジャーナルですか。	<input type="checkbox"/>
2	出版社を容易に特定し連絡をとることができますか。 ・ジャーナルのウェブサイトに出版社名が明示されていますか。 ・出版社に電話、電子メール、郵便で連絡することができますか。	<input type="checkbox"/>
3	そのジャーナルがどのような査読を行っているか。	
4	使用されている評価指標は一般に知られていますか。	
5	料金設定は明瞭ですか。	
6	ジャーナルサイトでは、料金の支払い方法が明瞭ですか。	
7	編集委員会は設置されていますか。 ・編集委員について掲載されていますか。 ・編集委員は自己申告されていますか。	
8	その出版社は、学術出版に特化した出版社ですか。 ・その出版社は、Committee on Publication Ethics (COPE)に加盟していますか。 (https://publicationethics.org/) ・ジャーナルがオープンアクセス出版に特化した出版社ですか。 (OASPA/ オープンアクセス出版協会) (https://oaspa.org/membership/) ・ジャーナルはNASP(科学出版物出版協会)に加盟していますか。 (パングラデシュ、ネパール、スリランカ) ・ジャーナルはAJOL(アフリカジャーナルオンライン)に加盟していますか。 ・その出版社は上記以外のなんらかの業種に特化した出版社ですか。	

ジャーナルへ投稿を検討する際のチェックリスト

令和元年6月 熊本大学 URA 推進室作成

No.	チェック項目	Yes	No
1	あなたや同僚が、投稿予定のジャーナルについて正当なものであると知っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	そのジャーナルに以前投稿された論文を読んだ事がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	そのジャーナルで最新の論文を容易に見つける事が出来る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	そのジャーナルの出版社について、連絡先がすぐに分かり、電話・メール・郵便で連絡が取れる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	そのジャーナルのウェブサイトには出版社名が明記されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	そのジャーナルの査読方法が明白である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	そのジャーナルの出版社から請求される内容がはっきり書かれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	そのジャーナルにおいて編集委員会が設置されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	編集委員がそのジャーナルについて自身のウェブサイトに掲載している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	そのジャーナルの出版社が信頼できるような出版・研究業界の団体に参加している (例1)Committee on Publication Ethics (COPE:出版規範委員会) (例2)Open Access Scholarly Publishers' Association	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

左: 新潟大学チェックリスト
 右: 熊本大学チェックリスト
 どちらもソースは
 「Think Check Submit」

※「Think. Check. Submit」のcheck list(<http://www.thinkchecksubmit.com/>)

ホワイトリスト：

DOAJとは？

①英国の非営利法人

オープンアクセス・インフラストラクチャ・サービス

(以前はルンド大学) が運営

②約19,000のフルOAジャーナル

<https://doaj.org>



ポイント：

a. 7割が英語圏、それ以外が非英語圏

b. すべてのOAを収録対象にしない

(ホワイトリスト：要件を満たしたジャーナルのみ)

c. 収録数はOAの伸びとともに増加している。2年前は約16,000誌だった

d. J-STAGEを運営している科学技術振興機構もこれへの収録を支援している

☑DOAJにおけるフェイクジャーナルに絡む大きな動き

①論文の投稿ジャーナルの選定

②質保証 (ホワイトリスト)

SCOPUSやWeb of Scienceも。

ただし、限界もあり

(査読の中身までは精査できない)

その他のホワイトリスト：

- JCR(Journal Citation Reports) (図書館で購読中)
- Web of Science (図書館で購読中)
- SCOPUS (図書館で購読中)
- MEDLINE ≠ PubMed
- EBSCOhost (図書館で購読中) 等

ブラックリスト：

Beall's Listとは？

(ビールズリスト)

ブラックリストの嚆矢

BEALL'S LIST
OF POTENTIAL PREDATORY JOURNALS AND PUBLISHERS

PUBLISHERS | STANDALONE JOURNALS | VANITY PRESS | CONTACT | OTHER

Search for publishers (name or URL)

Potential predatory scholarly open-access publishers

Instructions: first, find the journal's publisher – it is usually written at the bottom of the journal's webpage or in the "About" section. Then simply enter the publisher's name or its URL in the search box above. If the journal does not have a publisher use the Standalone Journals list.

All journals published by a predatory publisher are potentially predatory unless stated otherwise.

Original list

This is an archived version of the Beall's list – a list of potential predatory publishers created by a librarian Jeffrey Beall. We will only update links and add notes to this list.

- 1088 Email Press
- 2425 Publishers
- The 5th Publisher
- ABC Journals
- A M Publishers
- Abhinav

Useful pages

- List of journals falsely claiming to be indexed by DOAJ
- DOAJ: Journals added and removed
- Nonrecommended medical periodicals
- Retraction Watch
- Flaky Academic Journals Blog
- List of scholarly publishing stings

Conferences

- Questionable conferences [archive]
- How to avoid predatory conferences
- Flaky Academic Conferences Blog

a.2017年1月に閉鎖（基準の偏りや恣意性の指摘あり）

b.出版社およびジャーナル単位で2022年で約1,200社

c.今でも匿名の有志によって引き継がれ、

更新されているどこまで信頼して良いのか？

d.日本でも多く利用されている

e.無料 <https://beallslist.net/>

ブラックリスト：

Cabell's Listとは？

Cabell's Internationalは創業40年
ビールズリストの後継リストを作成
論文作成や投稿ジャーナルの選定等を
する学術情報系のサービス会社



- a. 4半期ごとにリスト更新
- b. 専門家による分析
- c. 重要度に応じた60以上の基準設定と具体的なブラック認定理由を付記

Cabells Predatory Reports Criteria v 1.1（選定基準）

<https://blog.cabells.com/2019/03/20/predatory-report-criteria-v1-1/>

- a. 最初はビールズリストのように無料で公開しようとしていたが保守コストが高すぎ、有料化
- b. 海外に750近くの大学顧客
- c. 個人で買うには高すぎる金額設定
- d. EBSCOもこれを契約し、ジャーナル選定のツールとして利用

ハゲタカの見分け方

	判断基準	留意事項
ジャーナル	一つの出版社による多数の新規ジャーナルの発刊	投稿料の集金目的の可能性と編集者や編集委員を確保している可能性は低い
ジャーナル	一定期日の発刊を予定していたにもかかわらず実際には発刊されていないジャーナル（不定期）	さらに年間掲載される論文の数が少ない
ジャーナル	収録論文のスペル、文法や内容の間違い	編集責任の放棄
ジャーナル	同僚などは当該ジャーナルを知っているか？	その同僚や先輩が学術情報流通関係に疎い場合は危険
ジャーナル	SCOPUS, Web of ScienceやDOAJなどで削除された	ハゲタカに関する何らかの指摘を受けた、インパクトファクターの変化。
ジャーナル	査読期間が異常に短い	質の高いジャーナルは質を担保するために時間もお金もかける。ハゲタカは編集も含めてコストのかかることはしない
ジャーナル	編集側からの自己引用の強制	自誌を引用してもらうことによって被引用数、ひいてはインパクトファクターを稼ぐ
ジャーナル	著作権の譲渡を必須としている	ライセンスの処理の簡便化、効率化で正規の出版社もこれを正当化するのが一般的ではあるが・・・
ジャーナル	同じ論文が複数のジャーナルに収録	
ジャーナル	編集の数と質	ハゲタカ出版社が勝手に編集委員の名前を使っている可能性あり。「近日中に設置」も言ったもん勝ち
ジャーナル、ホームページ	正規のインパクトファクターと誤解を招く評価指標や識別子の利用	
ジャーナル、ホームページ	PubMed, SCOPUS, Web of Science, DOAJといった著名なデータベースに収録されているか？	完ぺきではないし、そもそも収録されていると偽っている可能性もある
マーケティング、ホームページ	ジャーナル出版の他に学会参加料搾取を目的とした学会を開催している	いろいろな分野を一区所に集約、著名な研究者の名前を宣伝に利用
ホームページ	住所やコンタクト先がHPなどに明示されているか？	表示されていても偽の住所の可能性も。ジャーナルへの連絡手段がウェブフォームのみも赤信号
ホームページ、投稿料	論文投稿料がHPなどに明示されているか？また、いつ請求してくるか？	論文投稿料は本来出版が決まってから請求されるべき。投稿前や投稿の段階で請求してくるのは赤信号
ホームページ	HPの質は？例えば、スペルや文法の間違い、ロゴの解像度が荒い、崩れたレイアウト、デッドリンクがある	逆に立派すぎるHPIにも注意。やはりどんなジャーナル、論文を出版しているかが大事
ホームページ	広告の種類は？	製菓や学術団体や関係ベンダー、論文校正サービスなどの学術に関連する組織でなく、クリーニングや育毛剤などの広告を表示
マーケティング	頻繁にスパムメールを送ってくるか？	ハゲタカの顕著な特徴の一つ
マーケティング	OASPAやCOPEといった出版社の関連団体に加入しているか？	ハゲタカ出版社がロゴの無断利用や勝手に会員だと語っている可能性あり (OASPAオープンアクセス学術出版協会、COPEは出版倫理委員会の組織の略称)



一つの基準だけで判断はできない（例外あり）。ノウハウのない出版初期のジャーナルは特に注意。今では多くの研究者が知っている出版社でも草創期は怪しい要素があった。

ハゲタカの見分け方 (JHMモデル)

JHMハゲタカ判断基準 (J=Journal, H=Homepage, M=Marketing)

☑ジャーナル

☑ホームページ

☑マーケティング



結果は？
①赤の数 (リスクが非常に高い項目)

ハゲタカの定義 「学問を犠牲にして自己の利益を優先し、虚偽または誤解を招く情報の提供、最善の編集・出版慣行からの逸脱、透明性の欠如、積極的かつ見境のない勧誘活動を特徴とする団体

- 【注意事項】**
- ※一つの基準だけで判断はできません。多角的に分析しましょう。
 - ※ノウハウのない出版初期のジャーナルは上記の基準の1~2つに該当する可能性が高いです。軽々にハゲタカ認定することを慎みましょう。
 - ※まず自分で批判的に投稿しようとするジャーナルを分析しましょう。そして、この分析シートをチェック状況とともに図書館に相談することを推奨します。
 - ※この基準にいくつあてはまりましたか？特に赤信号に一つでも該当したらさらなる検討が必要です。
 - ※このモデルのヒントになったのは著名なThink Check Submitです。併せて参照してください (<https://thinkchecksubmit.org/journals/japanese/>)

分類	判断基準	留意事項	優先順位 (赤信号、黄色信号) <small>チェック</small>
ジャーナル	一つの出版社による多数の新規ジャーナルの発刊していませんか？	投稿料の採択目的の可能性と編集者や編集委員を短期間でそもそも確保できるのか？	黄色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	一定期日の発刊を予定していたにもかかわらず実際には発刊されていないジャーナル (不定期)	年間のデータベース掲載される論文の数が不自然に少ない (バックナンバー) 場合は危険かも	黄色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	収録論文のスペル、文法や内容の間違いはありませんか？	編集責任の放棄している可能性があります	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	上司や先輩、同僚などは当該ジャーナルを知っていますか？	有用な基準ですが、そもそもあなたの上司や同僚や先輩が学術情報流通関係に疎い場合はむしろ危険です	黄色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	SCOPUS, Web of ScienceやDOAJなどで削除されたことはないですか？	ハゲタカに関する何らかの指摘を受けた、またはインパクトファクターの数値の変化。	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	査読期間が異常に短くないですか？	査読にはそれなりに日数がかかります。少なくとも1~2週間程度で査読できるのは疑わしい。ハゲタカは編集も含めてコストがかかる	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	編集側からの自己引用の強制されませんか？	自誌を引用してもらうことによって被引用数、ひいてはインパクトファクターを稼ぐのが動機です。自己引用は原則です	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	著作権の譲渡を必須としていますか？	譲渡型とは異なり、オープンアクセスの場合、著作権の譲渡は一般的ではないようです	黄色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	同じ論文が複数のジャーナルに収録されていませんか？		赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル	編集委員の数と質は十分ですか？	ハゲタカ出版社が勝手に編集委員の研究者の名前を使っている可能性があります。編集委員のHPでこのジャーナルは触れていますか？	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル、ホームページ	正規のインパクトファクターと誤解を招く評価指標や識別子の利用していませんか？	本物のジャーナルは偽物のインパクトファクターやDOIを利用する必要がないですよ	赤色 <input type="checkbox"/>
ジャーナル、ホームページ	PubMed, SCOPUS, Web of Science, DOAJといった著名なデータベースに収録されていませんか？	これら著名なホワイトリストといえど完璧ではないし、そもそも収録されているとハゲタカが偽っている可能性もあります	黄色 <input type="checkbox"/>
マーケティング、ホーム	ジャーナル出版の他に学会参加料採取を目的とした学会を開催していませんか？	ハゲタカ学会は参加料採取を目的にして、いろいろな分野を一つに集約、著名な研究者の名前を勝手に宣伝に利用しているかも	赤色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	住所やコンタクト先がHPなどに明示されていますか？	仮に明示されていても偽の住所の可能性も。ジャーナルへの連絡手段がウェブフォームのみもハゲタカの特徴です	赤色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	論文投稿料がHPなどに明示されていますか？また、受理前に請求してきませんか？	論文投稿料は本来出版が決まってから請求されるべき。投稿前や投稿の段階で請求してくるのはフラッシングです。	赤色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	明示されているAPC (論文投稿料) は高すぎず、または安すぎませんか？	論文投稿料にも相場があります。	赤色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	HPの質は？例えば、スペルや文法の間違い、ロゴの解像度が悪い、崩れたレイアウト、デッドスペースの多いHPにも注意。	やはりどんなジャーナル、論文を出版しているかが大事です。	黄色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	学術とは無関係の広告はありませんか？	製薬や学術団体や論文校正サービスなどの学術に関連する組織でなく、クリーニングや育児別などの無関係な広告を表示している	赤色 <input type="checkbox"/>
ホームページ	メールアドレスのセカンドレベルドメインはいかがですか？		赤色 <input type="checkbox"/>
マーケティング	頻繁にスパムメールを送ってきませんか？	不特定多数に一斉メールはハゲタカの顕著な特徴の一つです	赤色 <input type="checkbox"/>
マーケティング	その出版社はOASPAやCOPEといった出版社の権威ある関連団体に入会していますか？	ハゲタカ出版社がロゴの無断利用や勝手に会員だと語っている可能性があります (OASPAオープンアクセス学術出版協会、COPEは出版倫理委員会の組織の略称)	黄色 <input type="checkbox"/>

- ・ Think Check Submitをより詳しくした判断基準モデル
- ・ 東海地区大学図書館協議会ジャーナルの2023年12月に掲載される講演論文「オープンアクセスの光と闇」参照

ハゲタカを調べる手段として、

- ①ホワイトリストで確認
- ②ブラックリストで確認

完璧な手段はない
複数の手段で確認すべき
チェックリストの活用も有力な選択肢になる

インパクトファクターといった評価指標や
DOIといった識別子の正しい理解も必要になる

最後に

